



令和6年度 エールしらかわ事業  
学生意識調査  
結果報告書

令和7年2月  
白河商工会議所



# 目次

- i** 調査概要・回答者属性
- 1** 現在、志望している業種
- 2** 就職活動をする上で参考または利用するもの
- 3** 地元企業に就職しようとした際に重視していること
- 4** 「こんな会社は避けよう」「受けるのをやめよう」と  
感じる企業の特徴
- 5** 「快適な職場」として求める要素
- 6** 地元企業の知りたい情報
- 7** エールしらかわで発信して欲しい情報
- 8** 白河エリアに就職を希望する人を  
増やすためのアイデア



# 調査概要

---

## 調査の目的

白河市出身の学生の就職観や白河市に対する要望を把握し、政策提言や事業推進のための基礎資料とすること。

## 調査対象

LINE公式アカウント「エールしらかわ」登録者

## 調査期間

2024年12月1日(日)～2025年1月26日(日)

## 調査方法

LINEのアンケート機能

## 回収状況

170件(うち、有効申込者 163件)

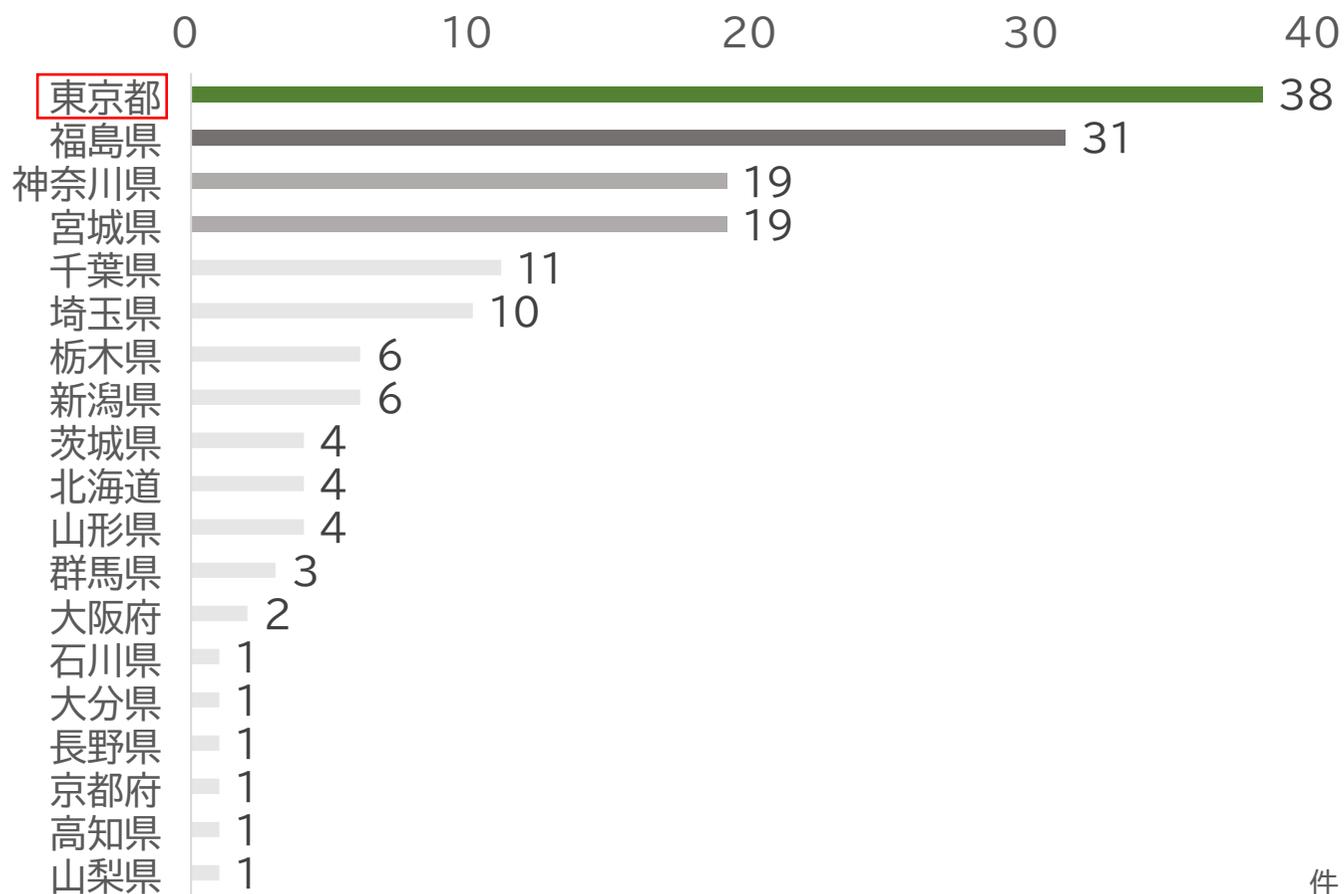


# 回答者属性

## 性別

男性：66名 女性：97名 計 163名

## 所在地

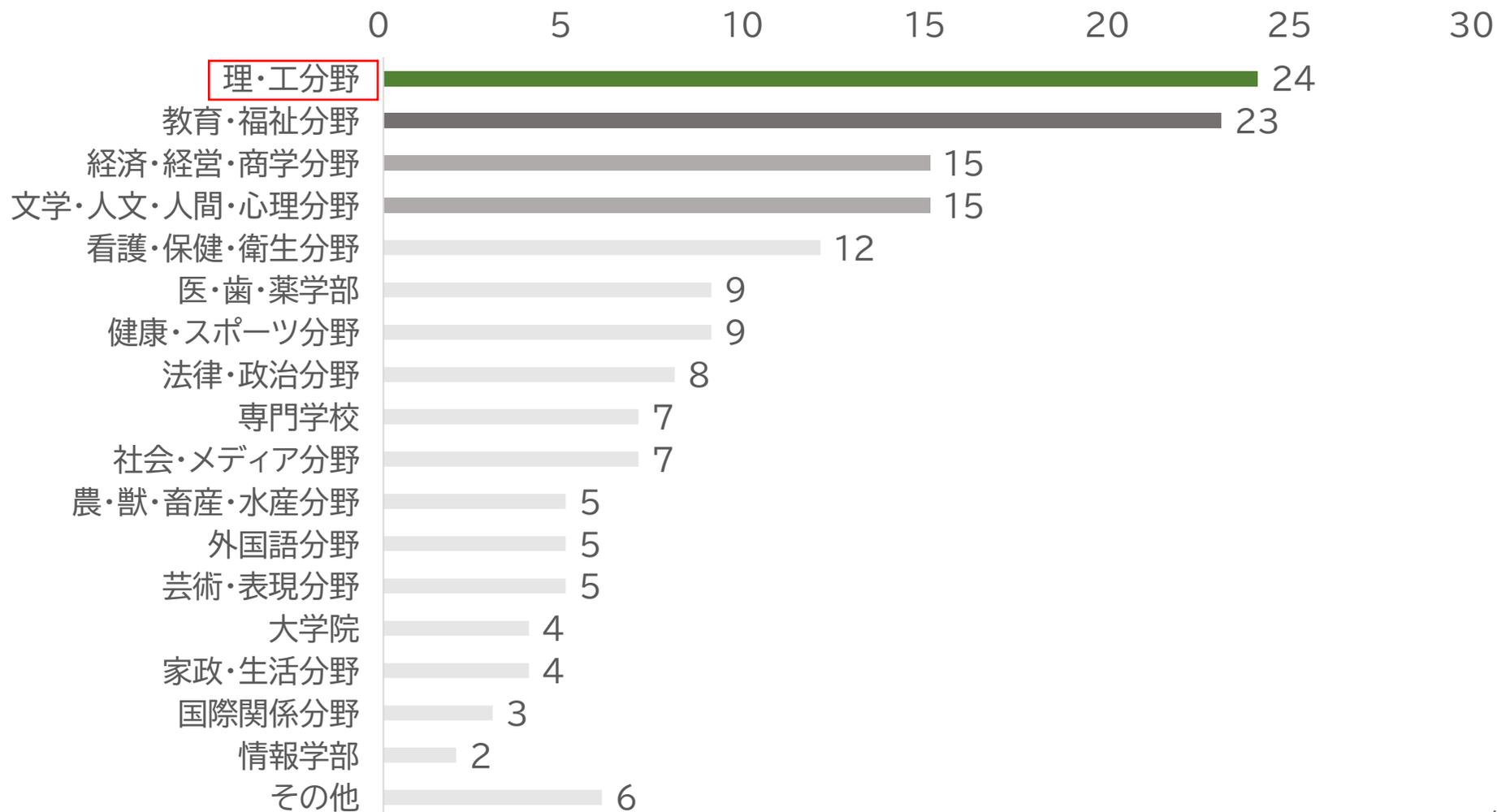


件



# 回答者属性

## 学部構成

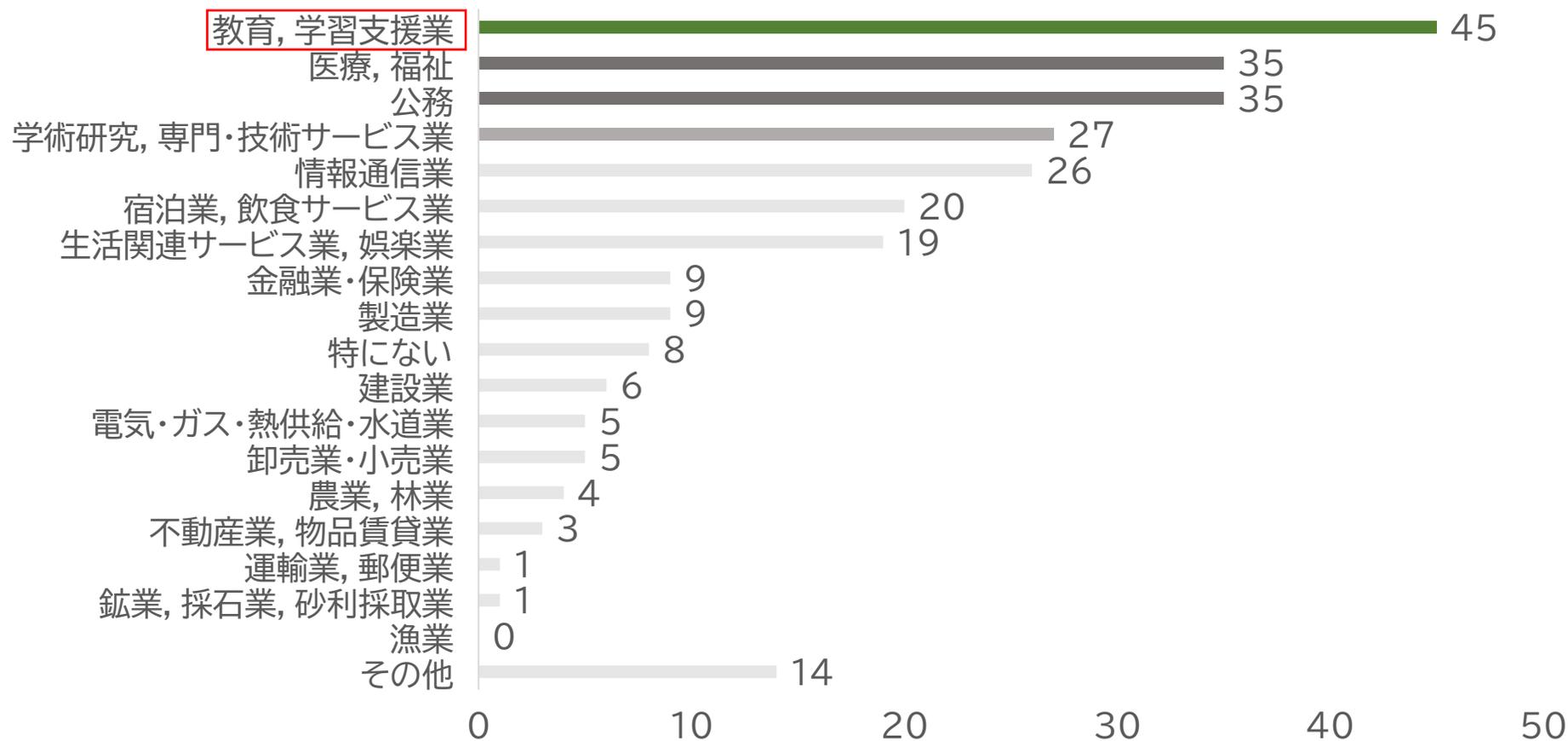


件

## 1

# 現在、志望している業種

「志望している業種」について、「教育・学習支援業」、「医療・福祉」、「公務」が上位となり、昨年度とほぼ同様の結果となった。



回答数：最大3つまで

件

## 1

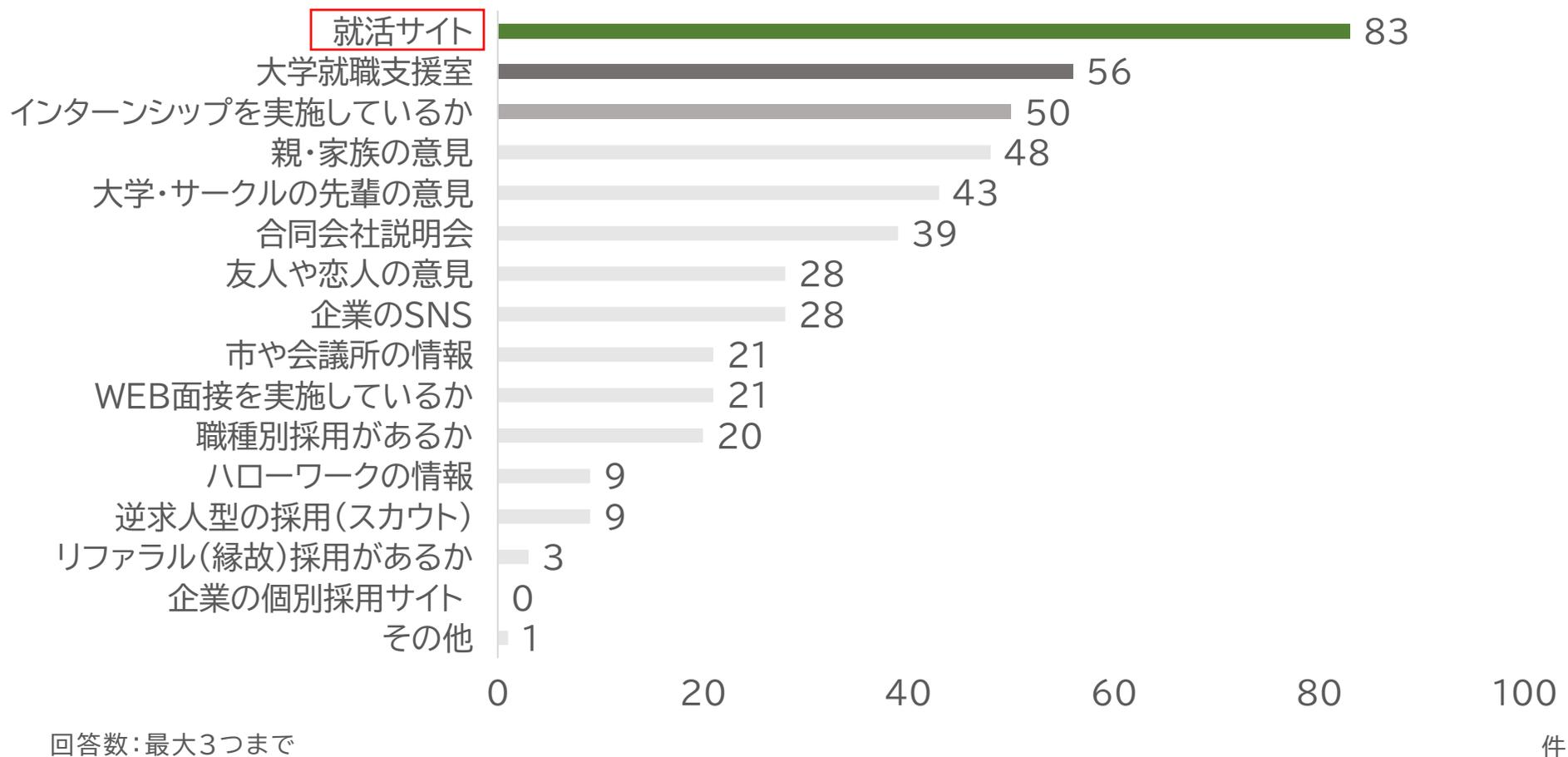
## 現在、志望している業種

〔その他 回答内訳〕

美容業	芸術系
設備管理等	看護師
整骨院の先生	栄養
情報デザイン系	メディア業
出版、広告	メディア関係(テレビや雑誌、映画など)
柔道整復	デザイン
就職先がサービス業のため。	スポーツ関係
写真	スポーツ関係
自然保護関係	サービス業
行政書士	エンジニア、機械系の職業
広告業	

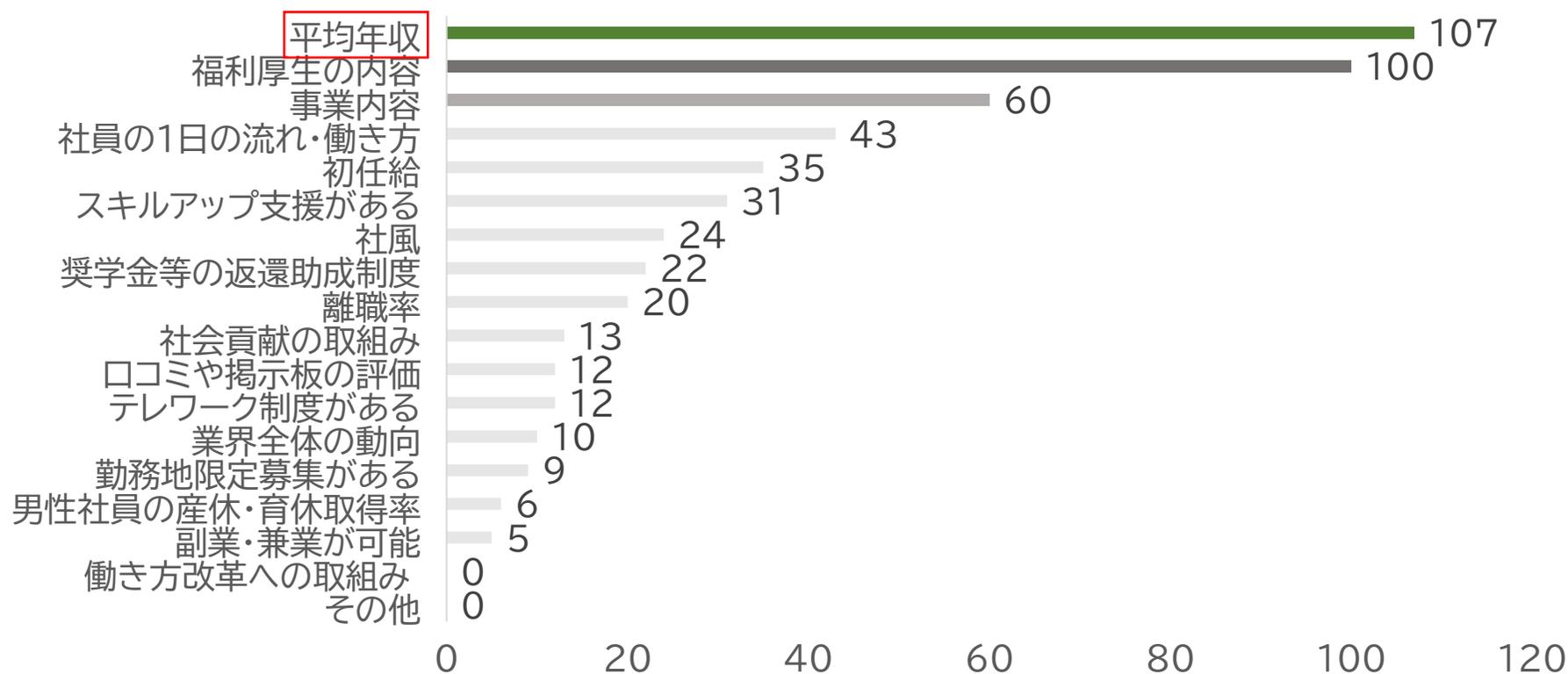
## 2 就職活動をする上で参考または利用するもの

「就職活動をする上で参考または利用するもの」について、上位3項目は「就活サイト」、「大学就職支援室」、「インターンシップを実施しているか」となった。



## 地元企業に就職しようとした際に重視していること

「地元企業に就職しようとした際に重視していること」について、上位3項目は「平均年収」、「福利厚生の内容」、「事業内容」といった直接的なメリットを重視する傾向がある。一方、「働き方改革」「副業兼業」「男性育休」といった柔軟な働き方や制度への関心は低い結果となった。これは、安定性や待遇面を優先する学生が多く、これらの制度に対する認知度や理解度が低い傾向があると推測される。



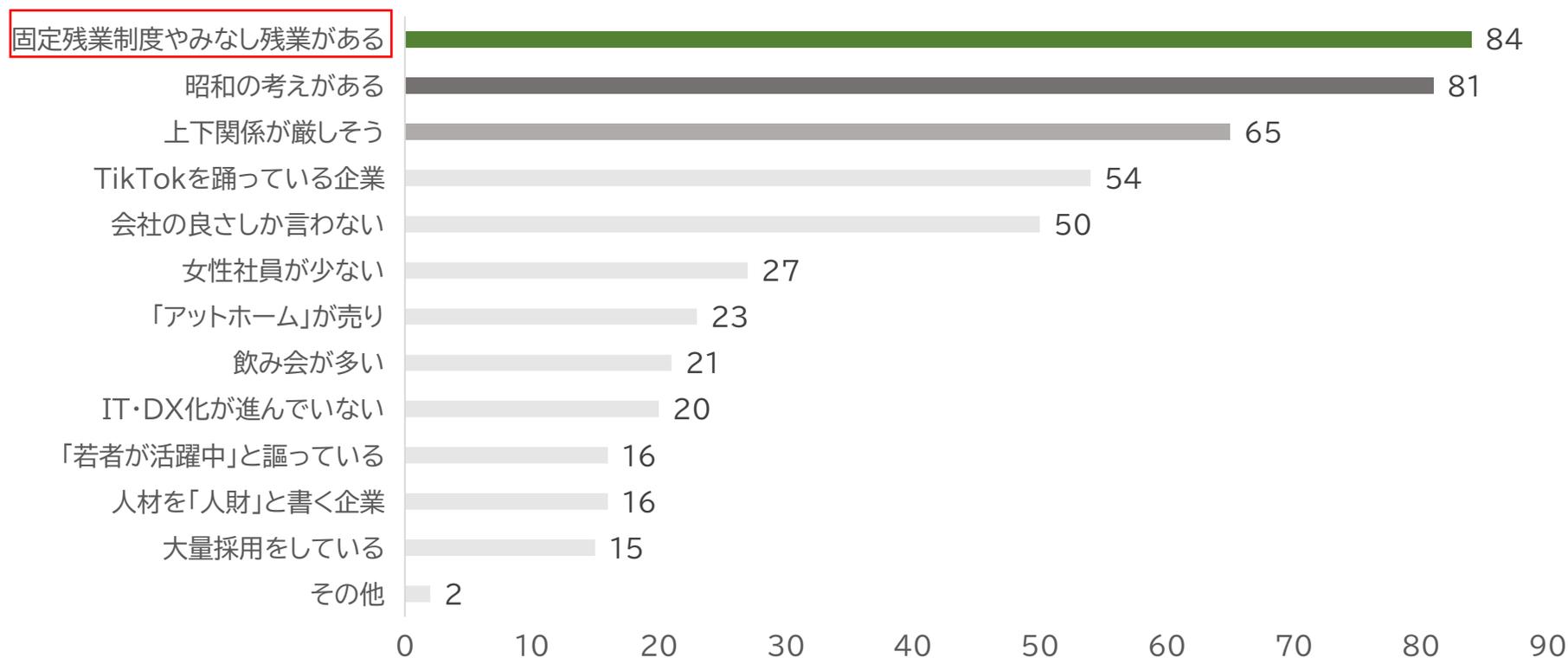
回答数：最大3つまで

件

## 「こんな会社は避けよう」「受けるのをやめよう」と感じる『企業の特徴』

学生が避ける「企業の特徴」として、上位3項目は「固定残業制度やみなし残業がある」、「昭和の考えがある」、「上下関係が厳しそう」となった。

年功序列や古い慣習が残る企業への懸念がうかがえ、大学生は透明性のある労働条件、柔軟性のある働き方、そして良好な人間関係を求めていると推測される。



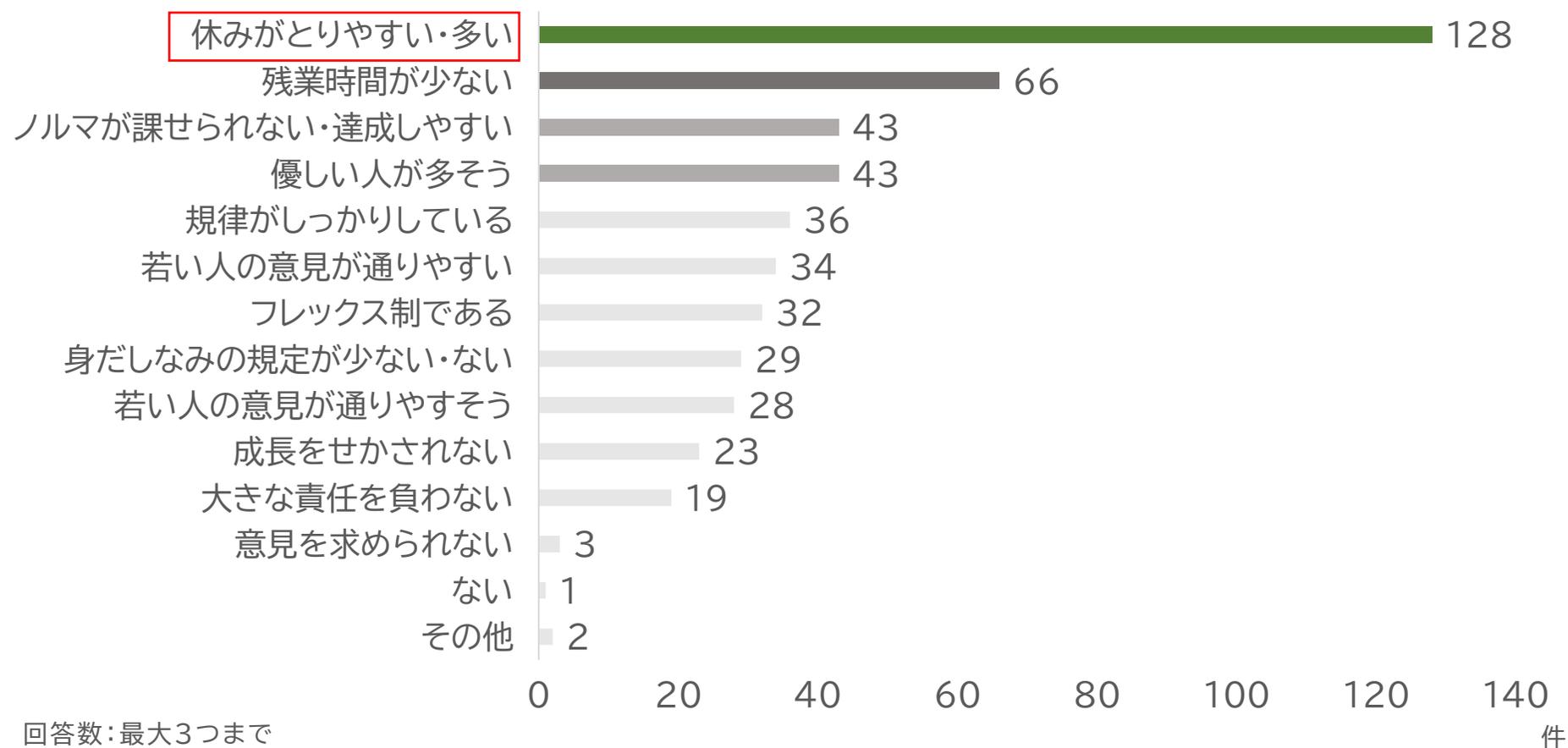
回答数：最大3つまで

件

## 「快適な職場」として求める要素

「快適な職場」として求める要素について、上位3項目は「休みがとりやすい・多い」、「残業時間が少ない」、「ノルマが課せられない・達成しやすい」となった。

ワークライフバランス、精神的ゆとり、自律性を重視する傾向がみられる。



## 地元企業の知りたい情報

どんな種類の会社があるか。
同世代の入社人数
年収
獣医業界の情報
求人情報やどんな企業があるのかの紹介や、求めている人物像についての情報などが知りたい。
年収の中央値 ワークライフバランス
どんな活躍をしているのか
住宅手当などどのような支援制度があるか
どんな仕事をしているか、若手から裁量があるのか
就職している人の県内 県外の割合
鍼灸院の採用情報
残業してもいいからその分見合った給料がもらえるか。
仕事内容
平均年収
給料など
年収企業の事業内容福利厚生社風
就職情報
人間関係などはどんなに良い職場でも合う合わないはあるため、福利厚生やお給料、離職率などの情報をしっかり教えてほしい。
不動産企業について

## 地元企業の知りたい情報

どのような業種の求人があるか。

求人

福利厚生、業務内容、年収、近年の採用人数と離職率、休暇制度

技術系以外のサービス業などの仕事内容

職務内容を言葉だけでなく、動画で分かりやすく知りたい。

ホテル業やサービス業についておすすめなところやそこにしかない取り柄があれば教えて欲しい。

職場環境、企業の実際、先輩の声

ソーラー事業への考え方

どんな企業があるのか、その強み

給料

どんなことが強みなのか。福利厚生。

社内環境とかが知りたい。

どんな仕事内容があるか、どのような取り引き先があるか

働きたいと思える情報。地元で運営している意味やメリット。

実績

年収、男女比

現在大学四年生で東京で就職が決まったが、いつか地元の白河に戻り、自分の家庭を築きたい。

私のように、新卒では関東に就職し、その後結婚や出産のタイミングでいつか白河に帰りたいと思っている人は多いと思う。そのためには東京と変わらない給料や福利厚生が必要になる。

現状、白河は正直地方なので、どんな職種と収入があるのか分からない。関東から地元に戻る人のために、新卒よりも転職支援の展開や、どのような選択肢があるのかを教えて欲しい。

働き方福利厚生実際に働いてる方の率直な感想何を目標としているか

地元での評判や信頼性今後の成長性や課題

## 地元企業の知りたい情報

事業内容で他に誇れる、差別化ができる点。地元企業が新規事業を始めた際の情報提供

実際に働いている人の本音を知りたいです

どんな人が働いているか

働いている人の生の声

採用基準

年収

情報系の企業はあるから

スポーツ企業など、スポーツに関わるものの進捗状況

職種、実績、給料、福利厚生などが知りたいです

海外に子会社または本社がある。どんな技術を鍛えればよいか。

年収がどれくらいか。

まだわからない

転勤があるかどうか

インターン情報、年収、福利厚生、事業内容など

給料

社内環境

事業で都会や海外とつながりのある企業。

企業の国際的な取り組みもしくは他企業との取り組み。企業自体の成長予測

働き方や、内定者の話が聞ける場

## 地元企業の知りたい情報

個人企業はどのような会社があるのか。
呼び込む客層の違い
昇給などの比較
どんな企業があるのか知らないため、一覧と概略がまとめられているものがほしい
年収と福利厚生
実際に働いている人の意見通いやすさ平均月収
地元企業に勤めている従業員の実際の声
周囲の地元企業とどのような連携や取り組みをしているのかなど地域での繋がりを知りたいです。
白河や福島県でなぜ起業したのか、また地元就職するメリットが知りたいです。
定員に対する志願者の倍率
都市ではなくそこで働くことによって得られるメリット
まず地元にはどんな企業があるか知らないなので、企業の種類などを知りたい
大卒を募集している企業のまとめ情報職種別に選択できたらなお良い社員はどんな人が多いか(職場の雰囲気)
企業の特徴や強みを知りたい
どんな取り組みをしているか
今後の企業展開、福利厚生の詳細、地元の中だけで成り立っているのか、県外を含め全国規模に展開させる予定があるのかなど。
地元に戻元されている事業の成果
情報は自分から聞くようにしてます
Uターン就職した人のインタビューなど。前例を知りたい。

## 地元企業の知りたい情報

地元就職率や、里戻り就職率

どのような人がどのような理由で入社したか。

どんな仕事があるのかを知りたい

ブラックかそうでないか一目で分かるもの。

福利厚生の内容を詳しく知りたいです。

地元民が就職しているかどうか

サービス業以外の企業がどれくらいあるか

どこに会社があるのか。福利厚生はどういう内容か。何をしているのか。

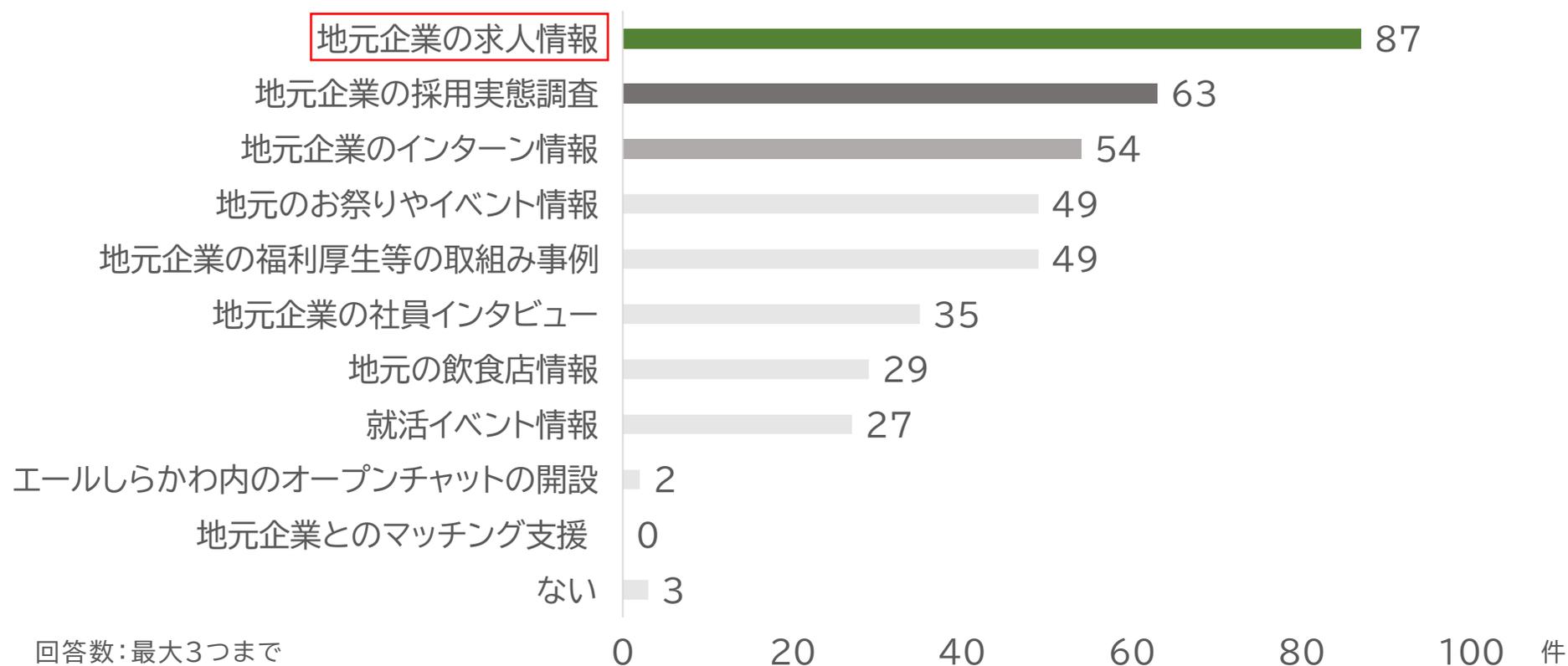
県外から就職した人の割合

## メールしらかわで発信して欲しい情報

「メールしらかわで発信して欲しい情報」として、上位3項目は「求人情報」、「企業実態調査」、「インターン情報」となった。

この結果から、大学生は就職活動に役立つ情報を求めている傾向が強いと考えられる。

また、「**地元のイベント情報**」を求める声も多く、地元へのつながりを維持したいという意向がうかがえる。イベント情報は、大学生の帰省やUターンを促すきっかけになる可能性がある。





## 企業への要望・求める職場など

一線を画した特徴のある会社がある。
都会から地元に戻ってきたいと思う会社の情報
福利厚生充実、休みのとりやすさなど
給料が高ければ良い
給与を増やす、家賃補助、都市の企業とのリモートでの連携を図り、地元でも都市と同様の業務ができるようにする
地元で就職するメリットを明確にする
インターンを増やす
就職先の数を増やす
若い人の意見が通りやすい
職種幅を増やして欲しい
職種幅を広げる
給料、休み
インターンシップが出来る企業を増やす
福利厚生充実、企業誘致をするなど。
給料が良いこと。ホワイトな企業であること。
スキルアップ制度を整える。
時給の上昇
クリエイティブな仕事が増えるといいと思います。
福利厚生をしっかりとる、給料をあげる
初任給をふやす



## 企業への要望・求める職場など

現状の把握と募集など

就職出来る業種を増やす

給料を増やす。職業の幅を増やす。遊べる場所を増やす。

福利厚生を充実させる

給与や手当等を充実させる。ワークライフバランスを充実させる。積極的にリモートワークを導入する。

給料をよくする

福利厚生のアピール、キャリア形成がちゃんとできることのアピール

待遇をよくする。地元企業情報をまとめたパンフレットを作成する。

研究職の雇用が欲しいです

福利厚生の向上、地元に残ることの利点

地元採用枠をつくる。小学生、中学生のときにいくつかの地元企業と接触できる機会をつくる。

福利厚生を手厚く、給料の底上げをする

ワークライフバランスの強調。地元企業の働きやすさや柔軟な働き方をアピール

職種を増やす

福利厚生を充実させる。

福利厚生をよくする。



## 企業への要望・求める職場など

地元独自の文化や魅力を発信できるような仕事を増やし、よりわかりやすく多くの人に伝えることができれば就職を希望する方がもっと増えるのではないかと思います。

地元のあたたかさや住んでいる一人一人の方との交流しやすさは地元の魅力的な点だと思います。

地元を離れて学生生活を送っている人も多いため、オンラインでの企業イベントが増やす。

コンペなどを開催し、デザインや企画のアイデアなどを学生から募集する。企業と大学で連携事業を行うことによって接点を作り、親近感や関心を持ってもらう。

エンタメ関連の職種はどうしても首都圏に比べると少なくなるため、今あるものに囚われず新しい職種を増やす。

また、田舎っぽさと言われる要素のひとつとして男性中心の会社や硬すぎる上下関係のイメージがあるため、そのイメージ払拭のためのPR活動。首都圏にあるものの真似ではなく、日本全国的にみても新しいと思われる取り組みをする企業があれば興味を持てます。



## まちづくり

企業が豊富

きたいと思える場所がないとまず人は来ないからインパクトのある大型施設

なんかおもしろい行事増やす！

バスの運行回数を増やして車がなくても移動しやすくする交通整備

バスの本数を増やすなどして、自家用車以外でも通勤かできるようにする。

ほどほどに娯楽と自然がバランスよく両立した町づくりを目指すのが良いと思う。

もう少し白河駅前を中心に発展させていき、若者が就職したいと思える企業を増やしていくべきだと思う。

家賃補助の充実、近隣住民との交流

街のインフラを進め、商業施設を増やし、働く層が住みたいまたは住みやすいと思うことが就職を希望する人の増加に繋がると思いました。

街を活性化させる。若い人を増やす。なにか昇格制度や、都内のように惹かれる何かを。

企業誘致

企業誘致

業種の充実、公共交通機関の充実

娯楽施設を増やしてそこで働いてもらう。娯楽施設が充実しているところに人は集まりやすいと思う。

交通便がよくなること。

公共交通機関での通勤手当や本数の増加

公共交通機関の充実

公共交通機関の発展や都市開発の取り組みが必要だと思います。

車がなくても生活ができるような取り組みがあると嬉しい



## まちづくり

就職場を増やす
就職先を増やす
住みやすい街の環境をつくる。
住みやすかったり、働かく場所を綺麗にする
新白河駅前、白河市街地の活性化。
人口増加
先進技術を取り入れた企業の誘致や自然環境が豊かである利点を生かした会社の地理、建物としての魅力を謳う
大学などのある、ある程度栄えた地域から、戻ってこようと思えるような魅力があると良いと思う。娯楽施設など。
大手企業の支店を増やしていく
地域を活性化させ暮らしやすい環境を作る
地域活性化をして、まず進学で地元離れさせない
地元が住みやすい環境を作り、その住みやすさを伝える。
地元での企業の増加や、若者が残りたくなる店の増加など
地元に戻りたいと思う商業施設の開設や福祉を充実させてほしい。
地元の強みを生かした産業、企業と連携して、魅力を感じられる仕事をつくりだす
地元の発展、住みやすい環境にする。
町の活性化
賃金を都心並みにすることや住みやすい環境作り



## まちづくり

白河市にも若い人が楽しめる商業施設や娯楽施設を使ったほうがいいと思う。

白河市を活性化させる

魅力的なレジャー施設などがあれば白河で仕事をして休日にも近場で楽しめる環境ができて増えるのではないかと考える

魅力的な何かを作る

魅力的な街にすればいいと思う。今は住みやすいが、魅力を感じない。

県外に出て地元で就職したくないという声が多い理由の一つに都会と比べ地元の利便性が悪いということが挙げられる。新白河駅周辺は栄えているものの他は栄えておらず同じ白河市民でも場所に寄っては最寄りのスーパーまで5km以上離れていることもある。老後になって買い出しに行くのが困難になるといった意見もあるため最低限どんな場所からでもスーパーまでの移動距離が短くなるようにすると思う。

交通の便があまり良くないと感じているので、より通いやすい仕組みがあると便利だと思います。また、地元で就職となると職種がかなり限られてくるイメージがあったり、なかなか情報が出てこなかったりするので、もっと情報を見つけやすい方がいいのでは無いかと思います。

高給料働いてお金が手に入っても、地元では何も楽しむところもないし、買い物ややりたいことができないため、住むメリットがない。



## まちづくり

地元の更なる発展が大きな課題だと思う。娯楽施設等、十分にショッピングができれば地元離れを減らせることにつながる。若い人が活躍できる場を設ける。  
知り合いを固めた身内感のある職場は噂やプレッシャーなど環境悪化の恐れがあるため、新入社員を複数人入れなければ支えあえず、より地元から離れる可能性がある。

都会とどうしても文化格差が生まれてしまうため地元に戻りたくないと感じてしまうので、文化資本の充実が図れるようなまちづくりを行なってほしいです。



## 各種支援

地元に戻って就職すれば奨学金免除や、家賃補助がある、子育て支援が充実してるなど、地元に戻る金銭的な援助があれば良いと思う。

お金を渡す

給料をあげたり、住宅手当、地元手当など福利厚生を充実させる。

返済金不用

奨学金返還制度をしているかどうか。

支援金

地元からの就職だと自分になにかプラスになることがある政策

地元に戻りやすいように住居支援や転職サポートを充実させる

まず子供のうちから白河を好きになってもらうために園児から高校生までしっかりと支援する

地元就職の人への特別なボーナスなどを実施する

テレワーク経済支援

地元に戻ったら、給料プラスいくらかつけるなどの施策

住宅保証を充実させれば良いと考えます。

白河市で生まれた人が地元にて就職するときになにかしらの手当てを支給する

1人暮らしの補助など

地元就職した人への優遇(例)年間定額の食事券の配布など



## 各種支援

地元で就職する利点として、実家から通える点が挙げられる。したがって、住宅のリフォームや二世帯住宅への補助金、賃貸の値段を安くするなどして、住まいを確保したり、子育てしやすい環境を整えたりする支援が考えられる。

また、地元の良さが知っていて、その魅力を活かせる事業をおこなうことができると考えられるため、就職における地元枠をつくるということも考えられる。

今現在、実施しているのか分からないのですが、自治体からの金銭的な援助があれば増えるのではないかと考えています。都会で学んでいる人は奨学金を借りている人が多く、金銭的に困っている人が多いと感じるためです。

新卒での就職者を増やすのも大事だと思うが、関東への進学から関東への就職が多いので転職支援に力を入れるべきだと思う。私の父も県外で単身赴任をしているが、白河に帰りたくてもどうしても「仕事がない」ため難しい状況である。関東のような水準で給与が支払われる企業があればその情報を積極的に教えて欲しい。

また、関東から白河へ引越し、転職しやすいような制度の展開や、新たな出産育児支援制度を整備して貰えると新しい家族を連れて白河に帰ることが出来ると思う。白河は非常に住みやすく大好きな街なのでその良さをアピール出来ればさらに発展すると思う。



## 各種支援

Uターン就職の大きなメリットは、金銭的に余裕を持てることと社会人生活で家族からの支援してもらえることだと思う。金銭的にもっと支援があれば地元で働きたいと感じる方も増えると思う。職種が限られることなどデメリット面が目立つように思う。

地元企業への就職者を増やすには、年収と福利厚生の実質が最も重要だと私は考えます。例えば、私の周りでは私立大学や専門学校へ奨学金を借り、進学した人が多いと感じます。そのため、奨学金の返済補助等をするのはいかがでしょうか。

また、地元就職という言葉には必ず親という言葉が関わってきます。したがって、親や祖父母への介護補助等を充実すれば、将来のことも考えやすく地元に戻ろうと考える人も増えると思います。

また、独り身、家庭持ち、二世帯といったそれぞれの暮らし方に合わせた補助も重要だと私は考えます。これらのことより、白河市は様々な補助という観点からアプローチし、より市の受容性を高める必要があると私は考えます。



## 情報発信

企業内部の人間関係や雰囲気や透明化してほしい。
地元の良さを再認識してもらうような取り組み(イベントや魅力発信など)を行う。
企業説明会を実施する
地元就職することのメリットを明確にしてアピールする。
オンライン説明会を増やして、地元を離れた学生が、地元企業の情報を得ることができるようにする。
休日を充実させるためのお出かけの場所や過ごし方などを発信して欲しいです。
優良な情報発信
SNSを使った高校生向けの求人。
白河市の魅力アピール白河市に住むメリット
子供たちが生き生きと活動している姿が見られればその地域に将来性があると感じられる。
どのような場所なのか把握していない人がいると考えられるので、多くの情報を発信する。
年収が高い企業があることをアピールすら
市出身者に求人情報を伝える。
リクナビやマイナビのアプリに登録する。私の希望業界が少ないのかもしれないが、地元の企業を探してもあまり出てこないため登録されていないのかなと感じる。業界を増やす。
都会にないメリットを提示する
白河の良さを学校教育で伝える。
会社の利点、実際をアピールする。先輩の声を発信する。
企業情報の開示と着手事業現場の開示
支援やメリットを発信していけばいいと思う



## 情報発信

地元の魅力を発信する

高校生の頃に企業紹介、職場体験をする。企業内容を発信する。

県外に住んでいても白河の情報が知りたいので発信する。

県外へ進学していても就職活動がしやすくなるように、Webを利用した就活イベントの開催。

説明会を増やす

地元に戻るメリットを伝える

白河で働くことの良さをPRする。

長期休暇に合わせたインターンシップや就職イベントを実施して参加しやすくする。

企業説明会を定期的に行う。地元ならではの良さや魅力を発信する。

生まれ育った地域に貢献したいという意欲を引き出す。地元の現状、問題点などを周知させる。

成人式で集まるタイミングや就職活動を始めるときに、白河のこんな企業がどんな人材を欲しているなどの情報を流す

地元就職のメリットを載せた広告物を電車内などに掲示

SNSでの発信

まず、どんな企業が地元にあるのかを知らないなので、マイナビの地元版のようなものがあると良いように思う

地元で働くメリットや違いを分かりやすく説明したり、いま行っている政策を伝える

中高のうちから、地元どんな就職先があるのかを宣伝しておく

宣伝の媒体を増やす



## 情報発信

地元の強みをアピール

地元で就職することのメリットや支援、特別な取組などの発信など

白河で就職することへの良さの発信

就職した場合の良さや、就職した方の意見などがあればより意欲が湧くと考えました。

アピールする

企業のPRポイントの発信

地元企業のメリットを知る機会を高校生のうちに設ける。大学で県外に出た時にわざわざ戻る理由を考えるよりも周りの環境と同じように就職活動をする方が楽だから、大学生になってからUターン就職を考える機会があまりない。

地元の友人たちは、地元が都心や他県に比べどんな点において優れているのか恵まれているのかを知らぬまま、何となく都内や県外での就職を希望する人が多いと感じる。そのため他の地域や都心部に負けない、白河市や白河市で働くことの魅力を様々な媒体で情報発信しアピールしてほしい

SNSの活用をしている企業発信がまだまだ少ないと感じる・インターンシップの実施・子育て支援の実施・都会の真似ではなくもっと地元で根ざしたPRをしてほしい



## 情報発信

SNSを使って閲覧者を増やす具体的にInstagramやTikTokなどを駆使することで若い子の注目が集まりやすい。TikTokは踊るとかではなく、企業の仕事内容などをピックアップし投稿することによって注目が集まる。

また、webからも閲覧する人は多いのでホームページを見やすくすると言った努力が必要。自分を含めて若い世代はチラシよりSNSの方が興味が出やすい。チラシなどは様々なメリットがあるが、紙を使うという費用がかかる。しかしSNSのInstagramとかは無料でできる。圧倒的に今の時代はSNSを駆使することが一番強い。

地元の魅力を伝えることはもちろんなことだが、東京や便利なところに比べてしまうと都会に魅力を感じてしまうことが多いと思う。なので、白河にしかない魅力を伝えることが大切であると思う

首都圏などの都市部での就職では得られない価値、地方就職のメリットを提示する。どちらでの勤務も経験した社員のインタビューなどを掲載する。求人のある業種ごとに見やすくビジュアル的に発信する。

地元の会社が身近に感じられなく都市の会社が魅力的にみえるので、若者がよく見るsnsを活用する成人式や若い人が集まる際に、さりげなく地元就職の良さを伝える。



## その他

プライバシーが守られる

新卒だけでなく、第二新卒やライフステージに合わせて、他県で力をつけてから帰ってくる人にも焦点を当てること。

小学校、中学校時代の友人と交流できる機会を設ける。

上京した人たちとの差を埋める何か

同級生との仲をよくしてつながりを持つ

流行のものを取り入れる

地元に戻ってきてまで働く利点や働きやすさなどがあれば地元就職する人が増えると考えます。

キャリアセミナーを、高校生時代から行う。大学生になってしまうと、大学でのキャリア支援が主になり、地元のキャリア支援は優先度が落ちてしまう。

高校生時代から認知を広めることで、大学生になってからのキャリアの選択肢として上がりやすくなると推察する。

中学生、高校生に地元の魅力を感じてもらう。